

○調査概要

調査日：2022年3月5日（卒業式挙行日）

調査対象者：医学科6年生（卒業生）

回答率：95.0%（n=114）（分母は2021年度の卒業生120名）

調査方法：卒業式会場にて、教育 IR センター員が質問紙調査を実施した。

○結果報告

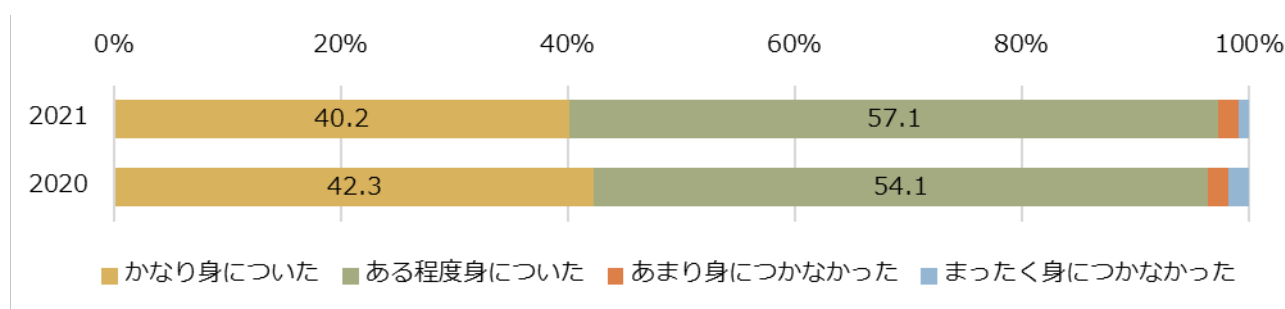
当該年度において、選択された割合や人数を、単純に表記している。無回答を含むため、選択者の計は回答者の計に一致しない場合がある。

問 1. 以下の項目は、東京医科大学医学部医学科の到達目標です。それぞれの能力をどのくらい身につけることができましたか。

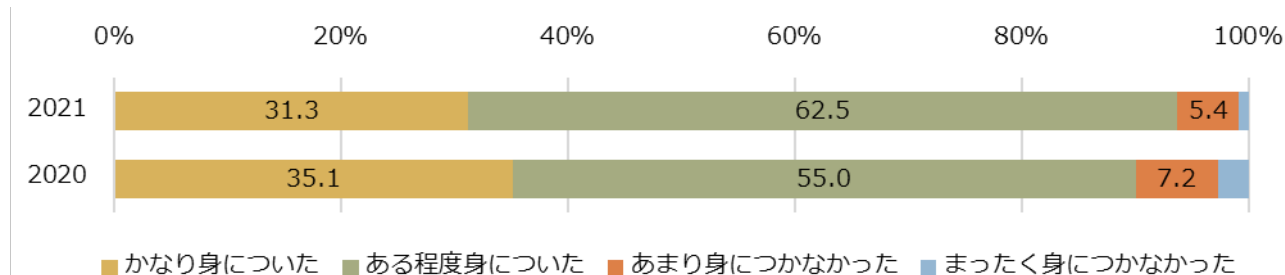
学修成果（教育期間の修了時に達成される知識・技能・態度）である10項目の教育到達目標について問う設問で、2017年度からアンケートに取り入れた。2020年度に教育到達目標が改定されたため、本報告書では2020と2021年度との比較のみを実施した。2017から2019年度までの比較は、本報告書末尾に付録として掲載した。

2021年度は、10項目中7項目で、90%以上が「身についた」（「かなり身についた」と「ある程度身についた」の選択者計）と回答している。90%を下回った3項目は、「6.ICT(情報通信技術)を利用した的確な医学情報を収集し、活用することができる。」(84.8%)、「9.国際的視野を有し、世界の人々の安全、健康と福祉に貢献するための能力を備えている。」(83.0%)、「10.医学研究の意義を理解し、基本的研究手法を身につけている。」(87.5%)であった。

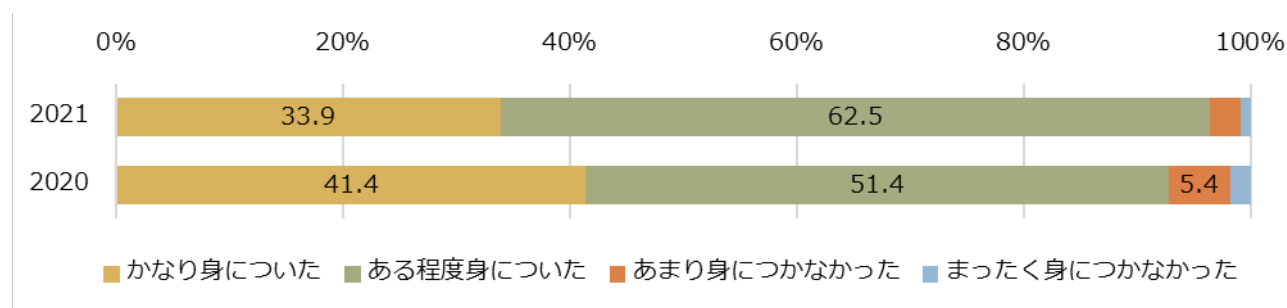
1. 礼儀・礼節を備え、敬意と思いやりの心をもって他者に接することができる。



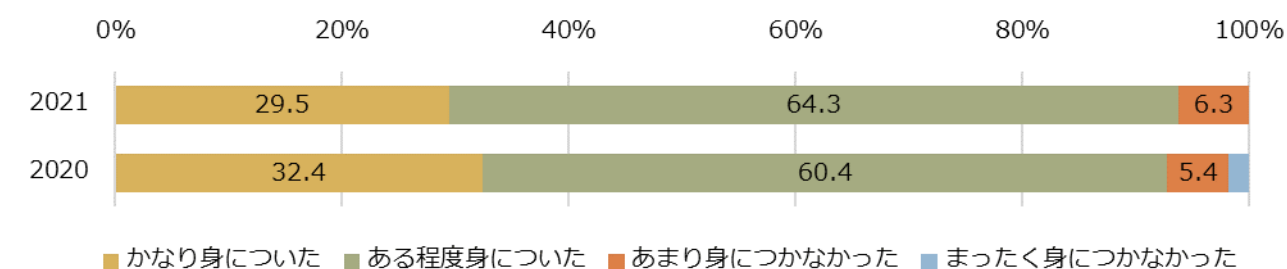
2. リベラルアーツに裏打ちされた広い見地と豊かな教養を身に付け、全人的医療を実践するための能力を備えている。



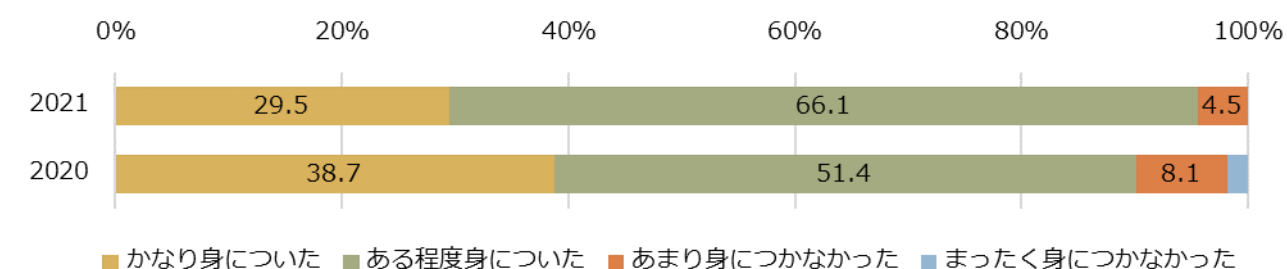
3. 医療プロフェッショナリズムを理解し、行動で示すことができる。



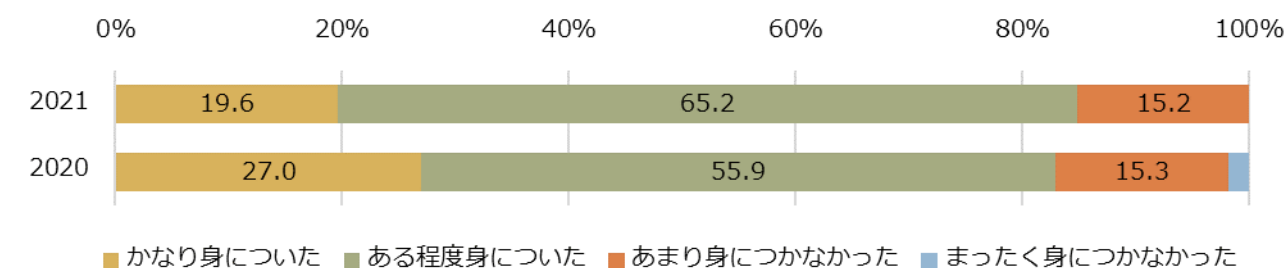
4. 科学的根拠に基づいた医療の知識や技能を修得し、診療の実践に応用できる。



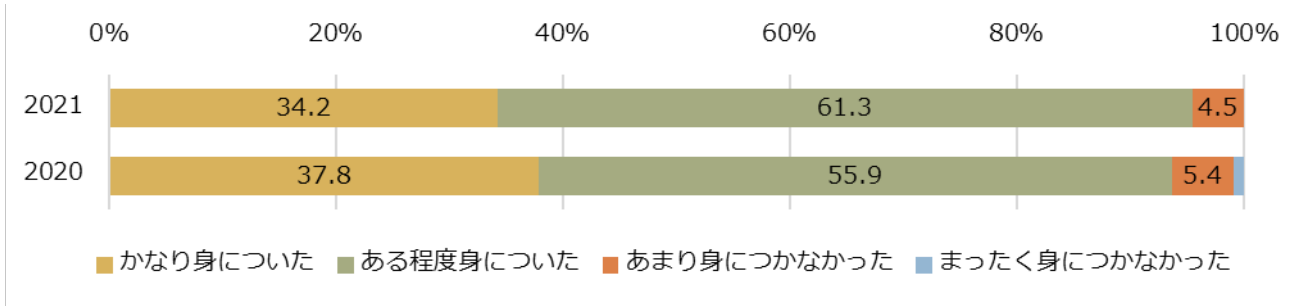
5. 能動的な学習方法を身につけ、生涯に渡り研鑽を積む習慣を備えている。



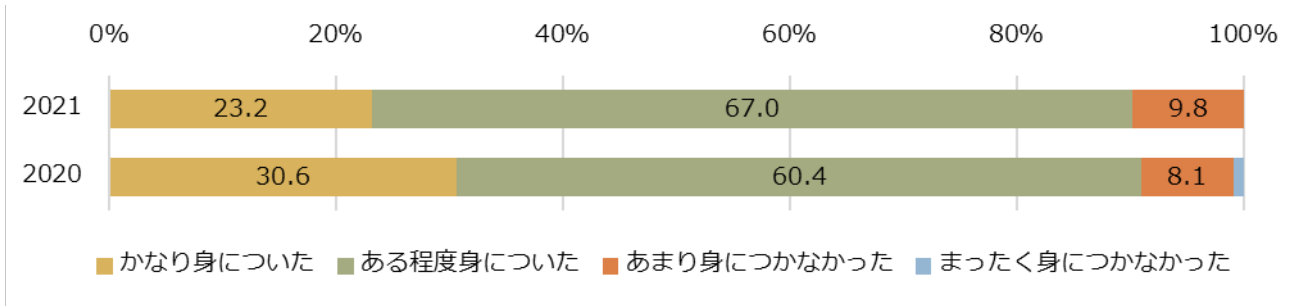
6. ICT(情報通信技術)を利用した的確な医学情報を収集し、活用することができる。



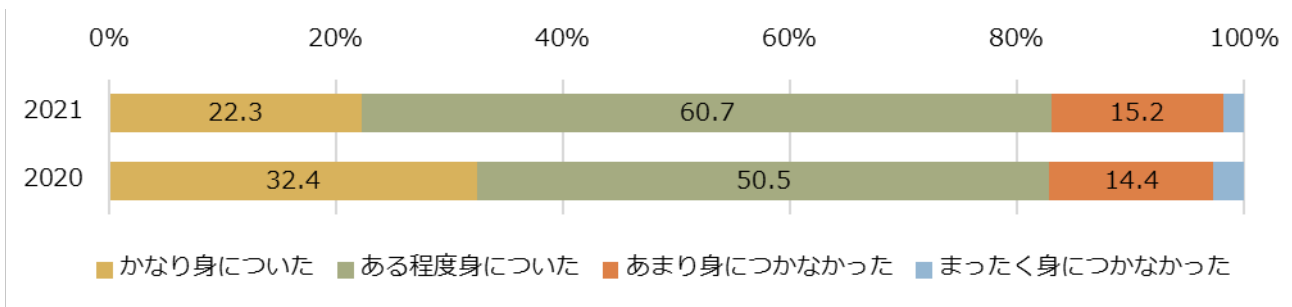
7. 多職種と協調したチーム医療の意義を理解し、実践に応用できる。



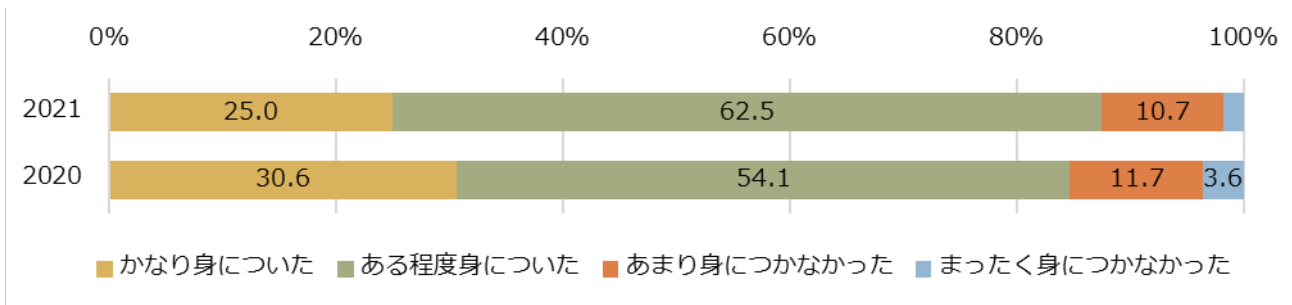
8. 予防医学、保健・福祉を理解し、地域医療に貢献するための能力を備えている。



9. 国際的視野を有し、世界の人々の安全、健康と福祉に貢献するための能力を備えている。



10. 医学研究の意義を理解し、基本的研究手法を身につけている。

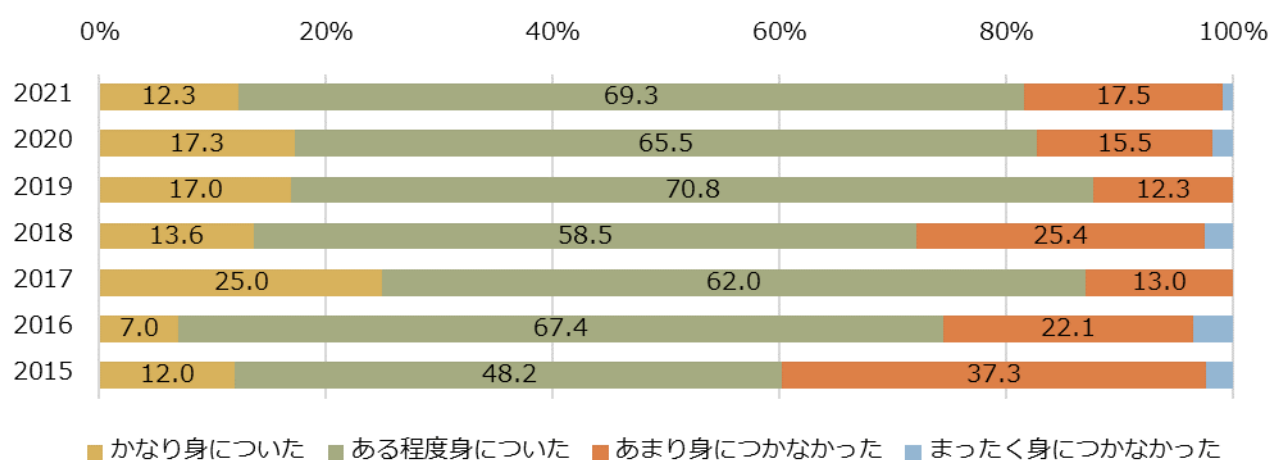


問2. 東京医科大学での授業や活動を通して、以下の能力を身につけることができましたか。

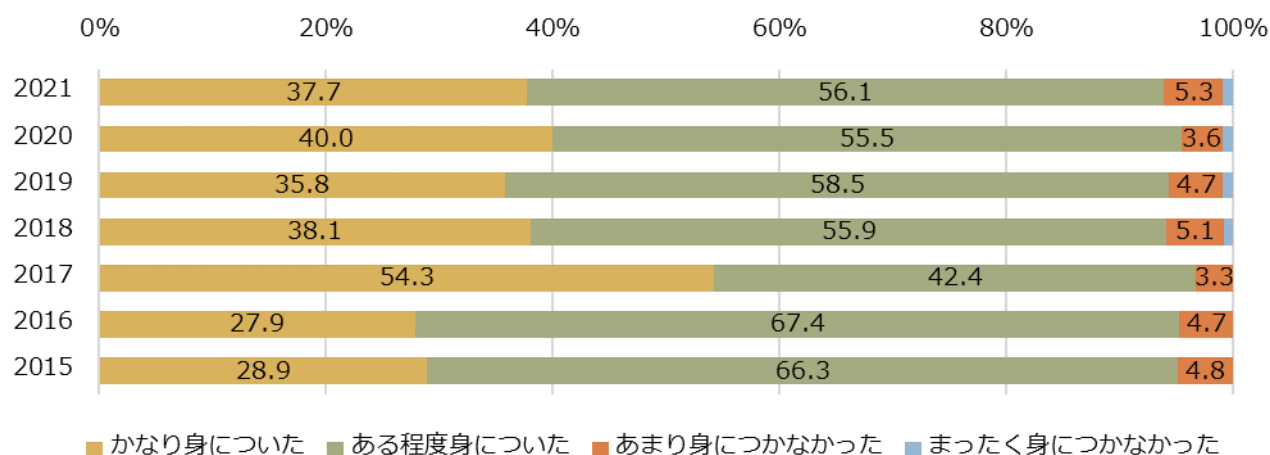
卒業までに身につけておくべき、知識、汎用的技能（情報リテラシー、論理的思考力、問題解決力など）、態度などの能力的側面がどのくらい身についたかを問う設問である。「20.コミュニケーションの能力」は、2018年度に追加した項目である。

2021年度は、20項目中18項目で80%以上の学生が「身についた」（「かなり身についた」と「ある程度身についた」の選択者計）と回答している。低かった項目は、「4.組織や集団をまとめるリーダーシップの能力」で「身についた」と回答した割合が79.8%であり、さらに、「13.語学など国際化への対応能力」で69.3%の回答に留まった。

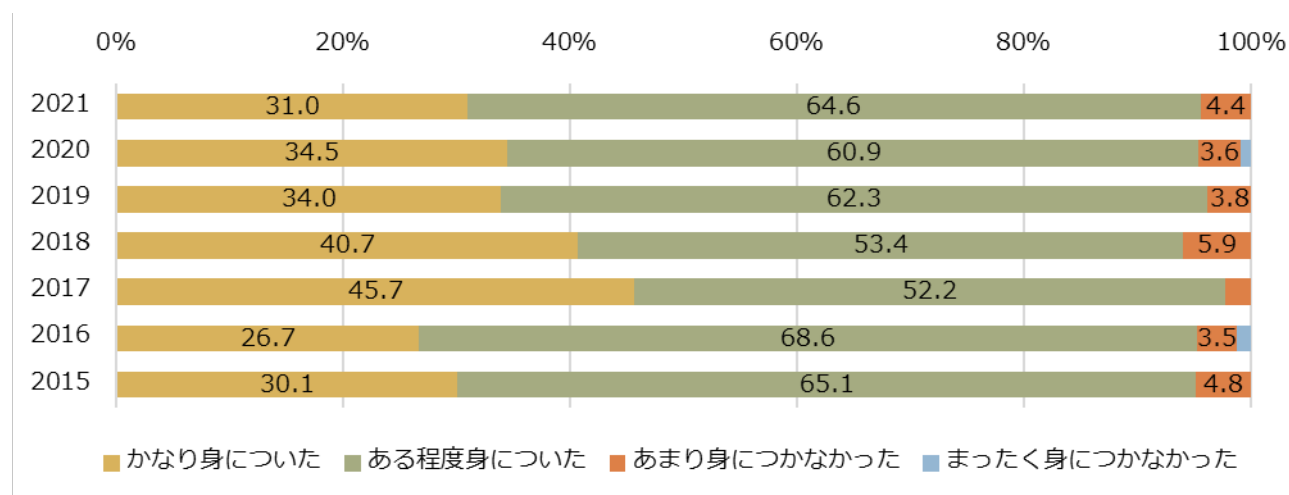
1. プレゼンテーションの能力



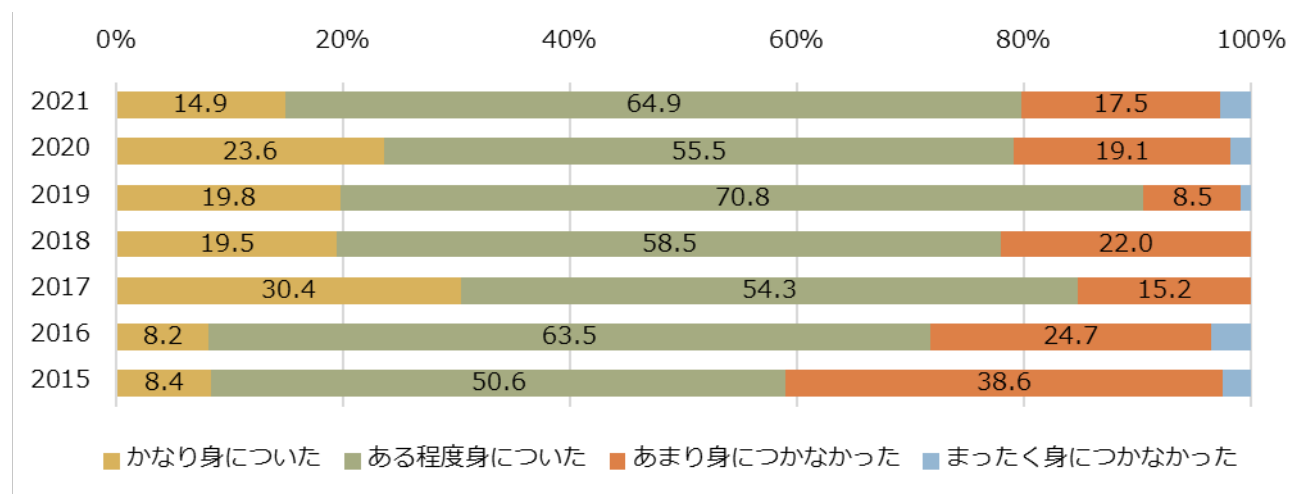
2. 医師としての倫理観



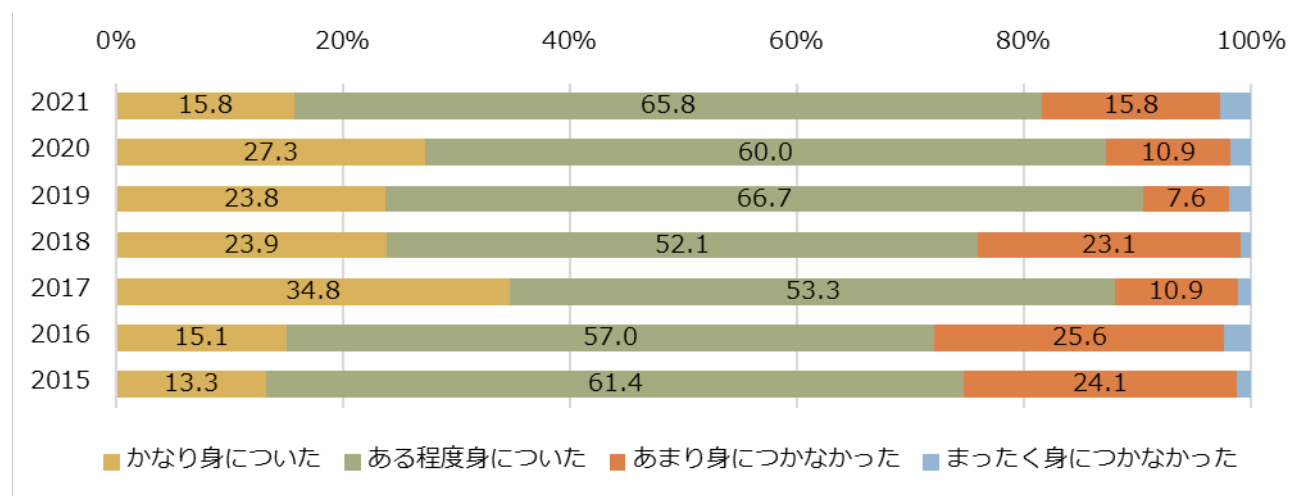
3. 診断や治療に関する知識



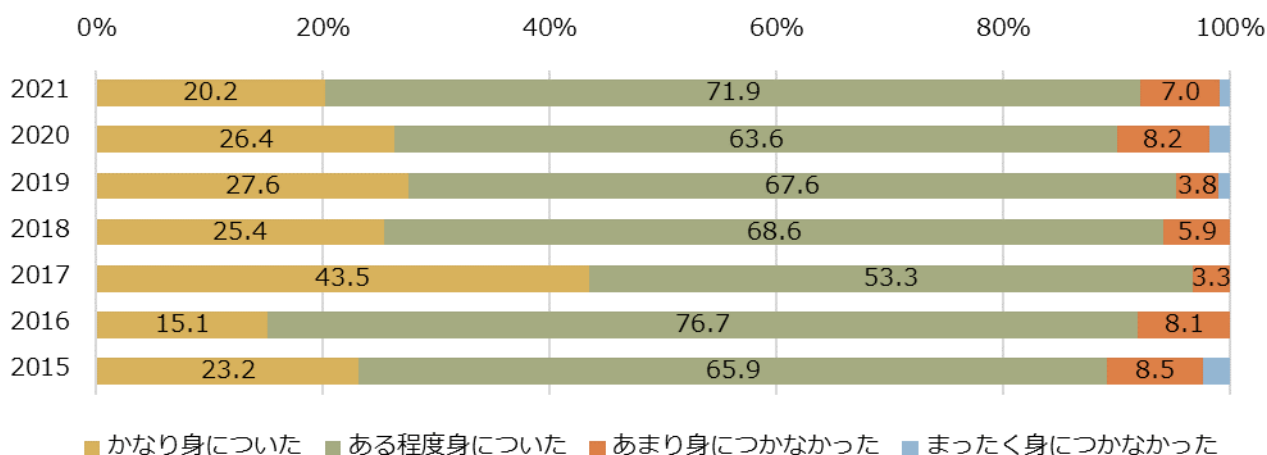
4. 組織や集団をまとめるリーダーシップの能力



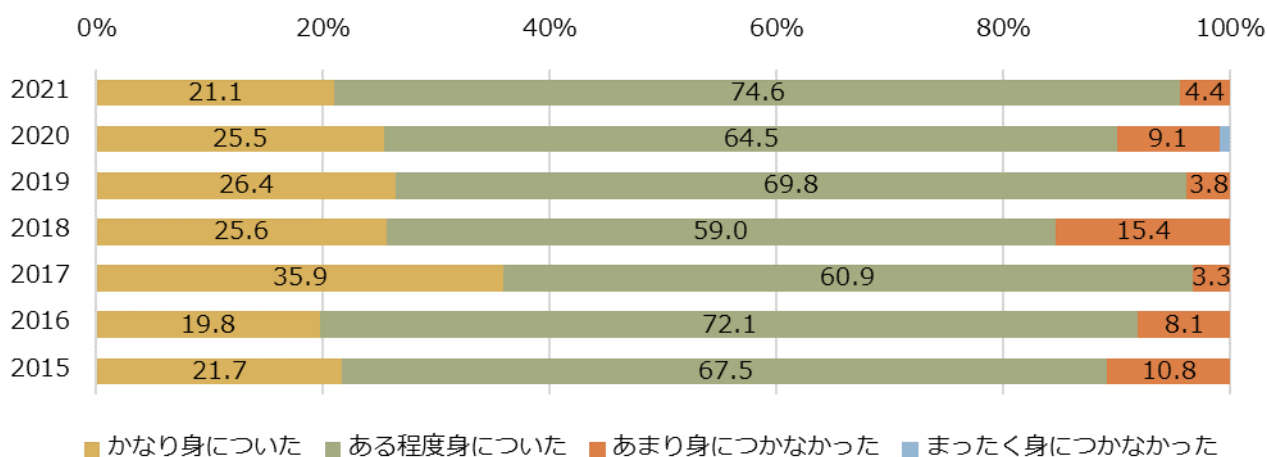
5. 医学研究の考え方や手法



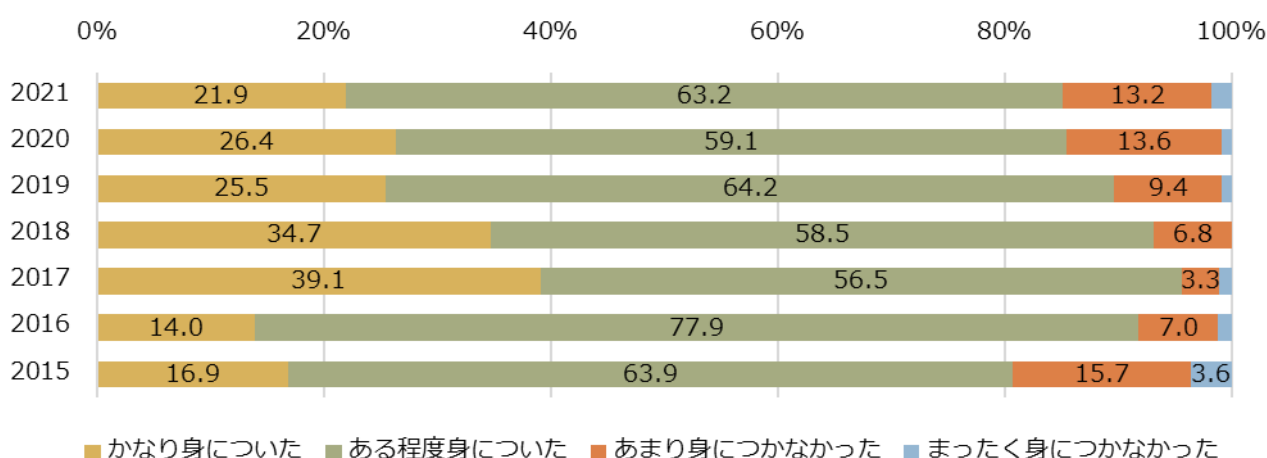
6. ものごとの問題点をみつけ解決方法を考える能力



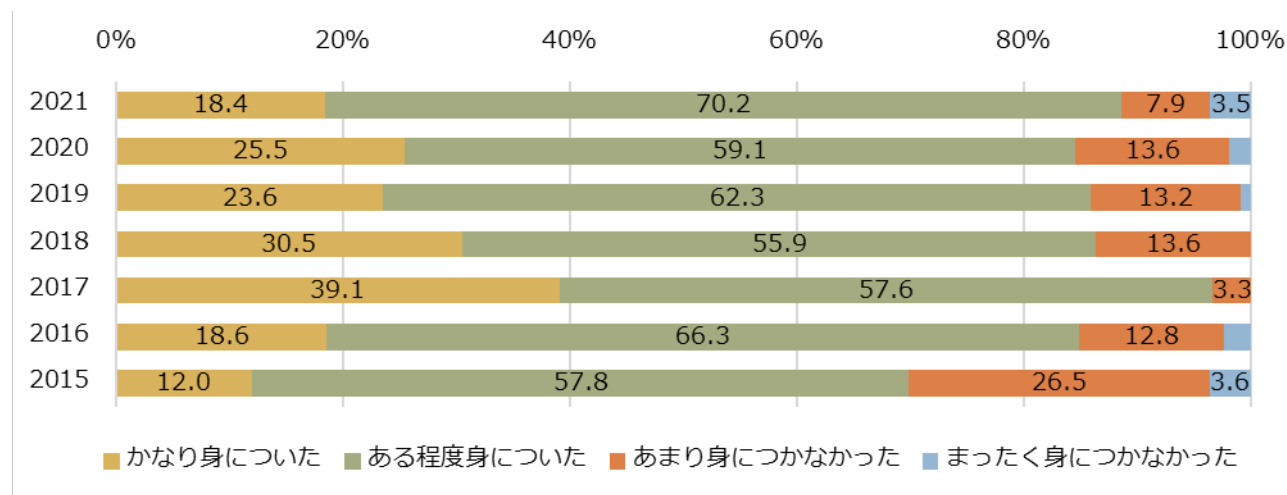
7. 疾病予防の考え方と保健・医療制度の知識



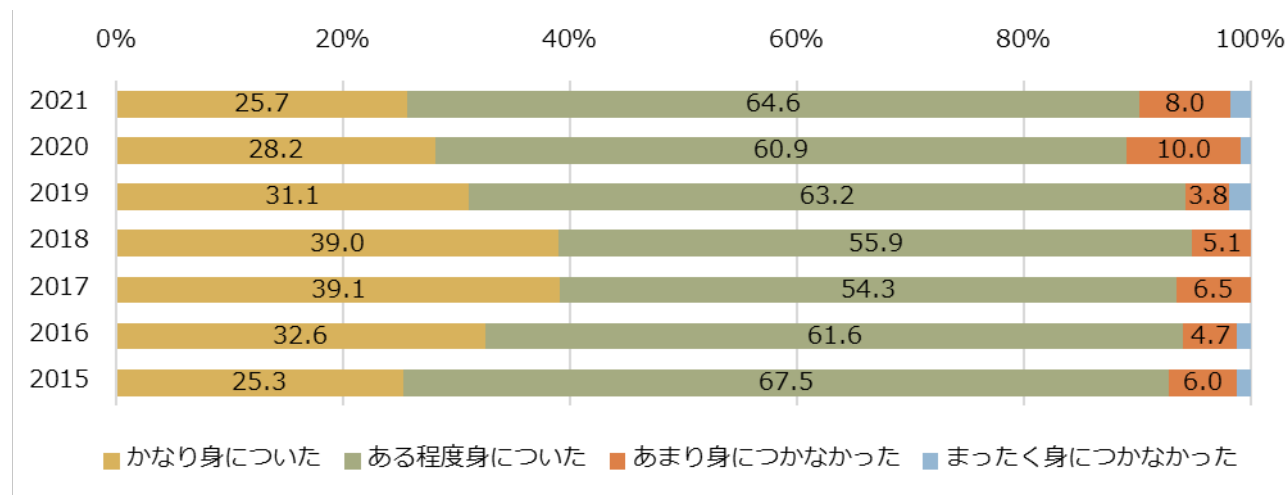
8. 自己研鑽・自己啓発を継続的に出来る学習習慣



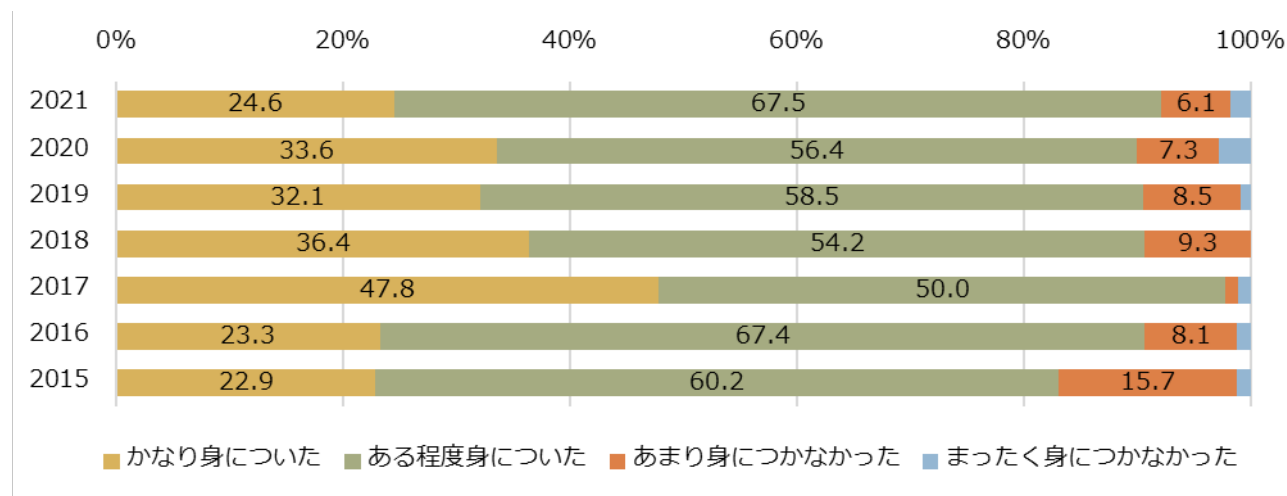
9. 豊かな教養による社会を見る広い視野



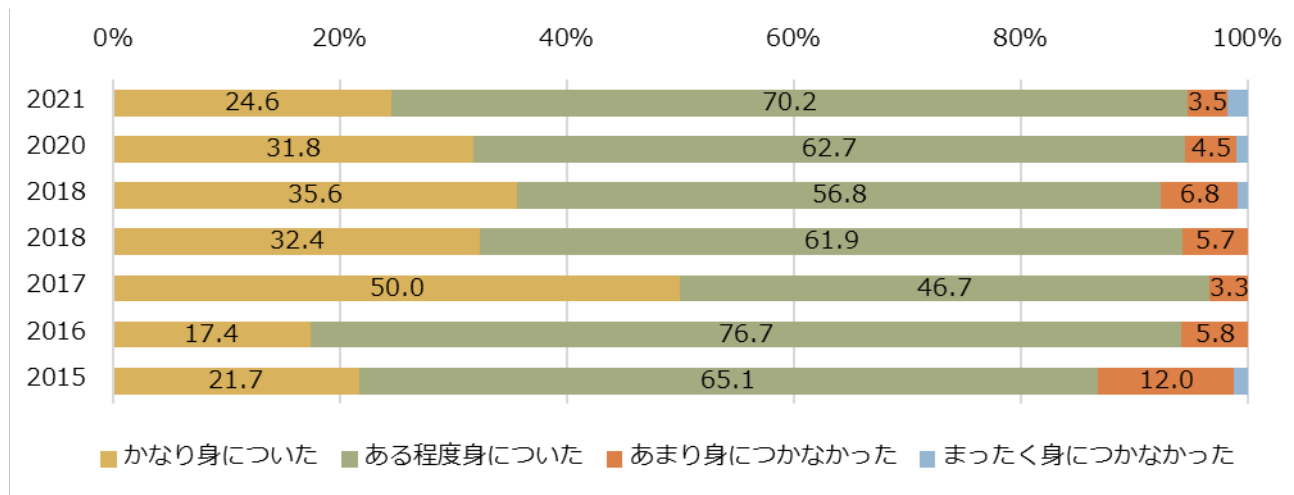
10. 病態の理解に必要な基礎医学の知識



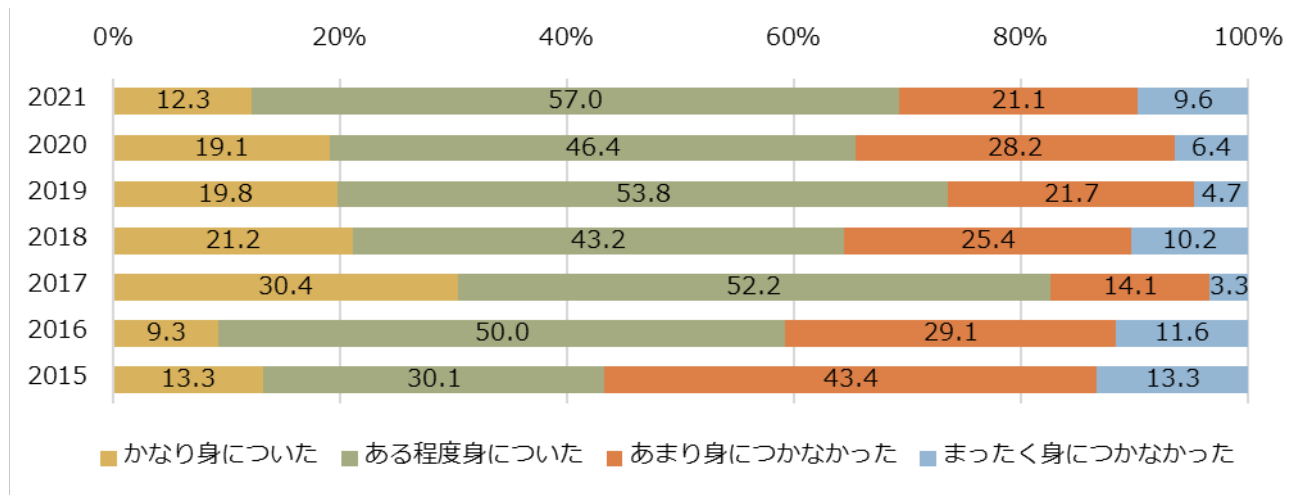
11. 豊かな人間性



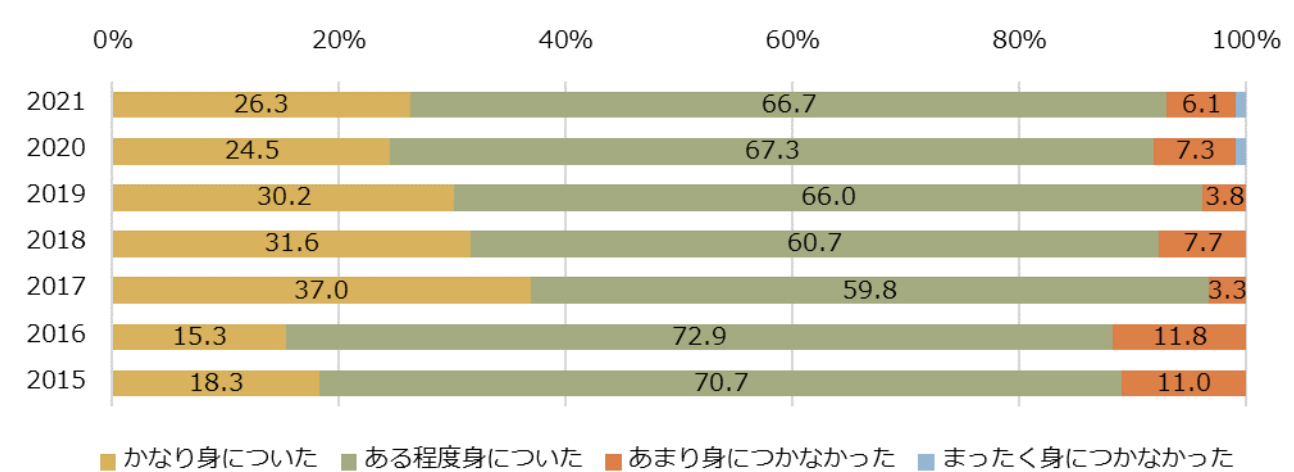
12. 医療面接の技能



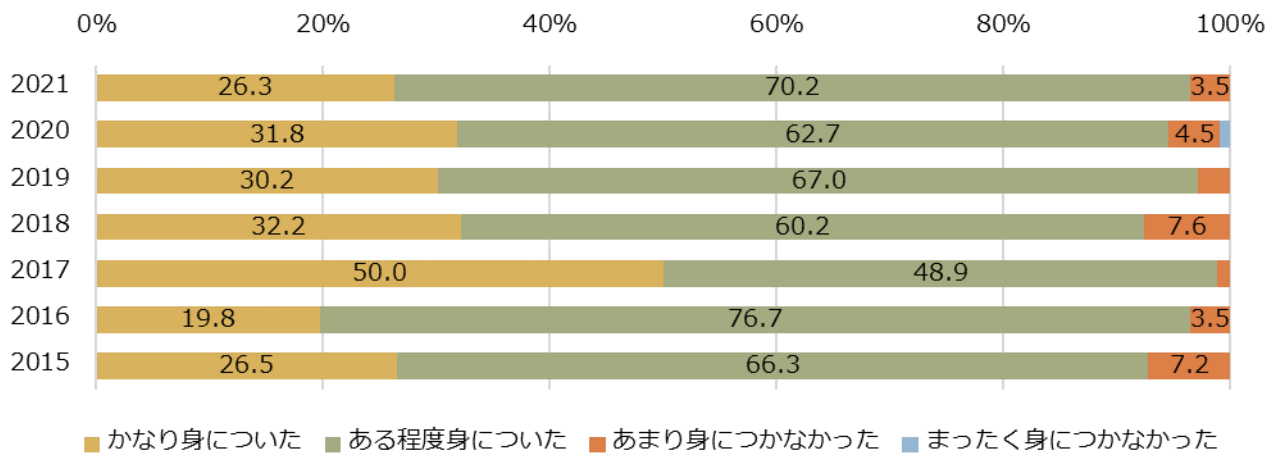
13. 語学など国際化への対応能力



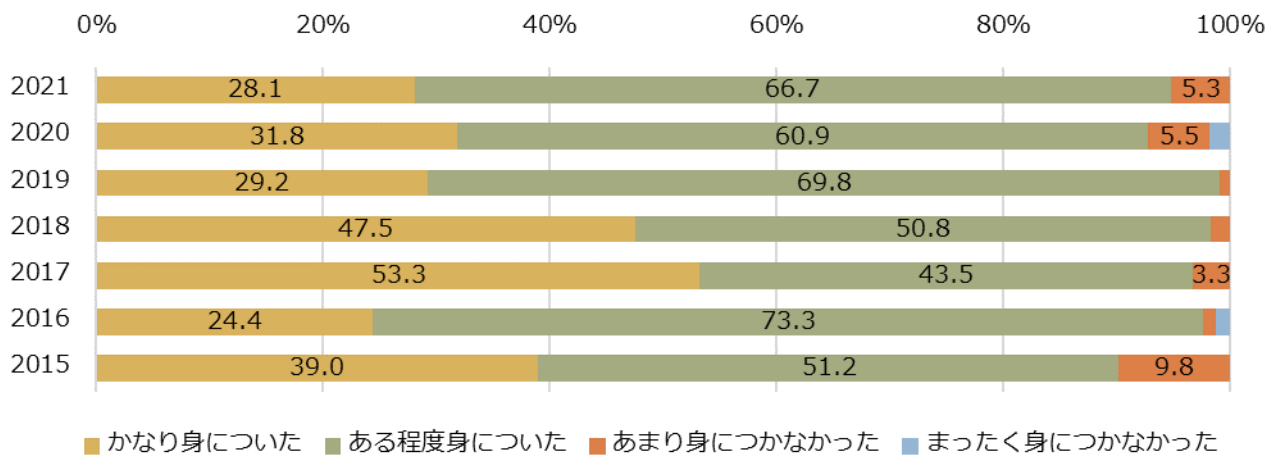
14. 論理的な思考力



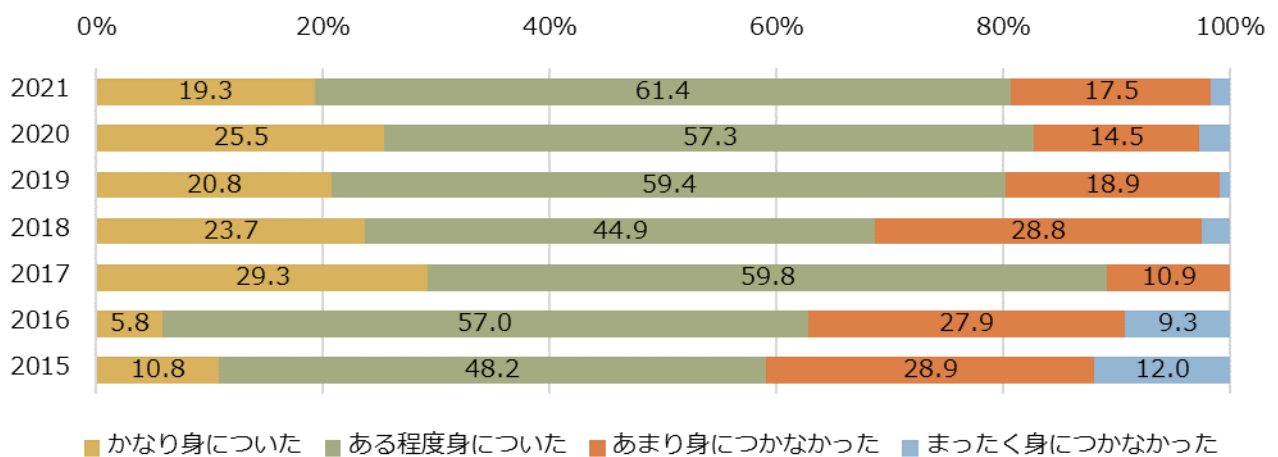
15. 医療安全についての知識



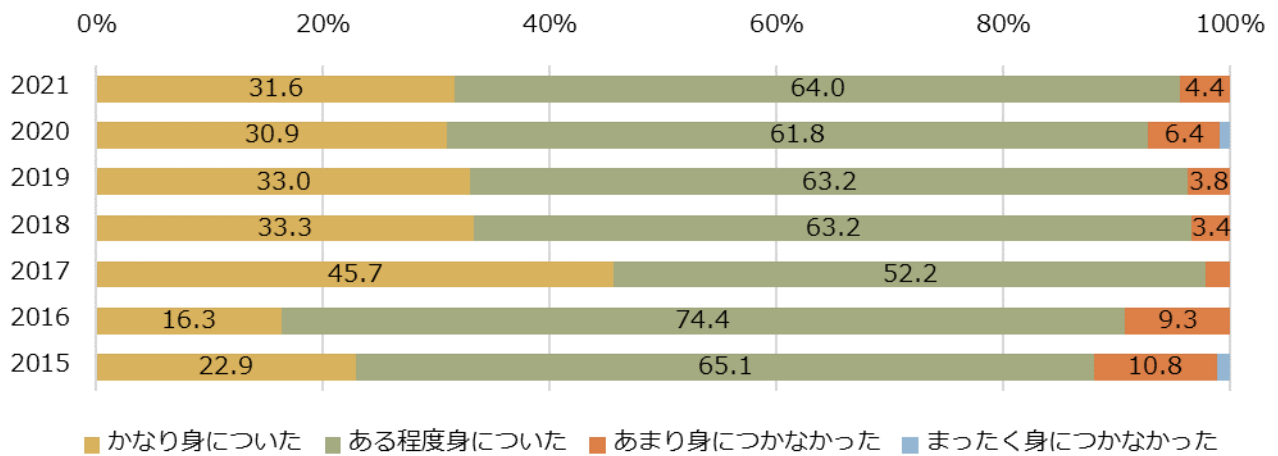
16. 礼儀・協調性・責任感など集団生活に必要な能力



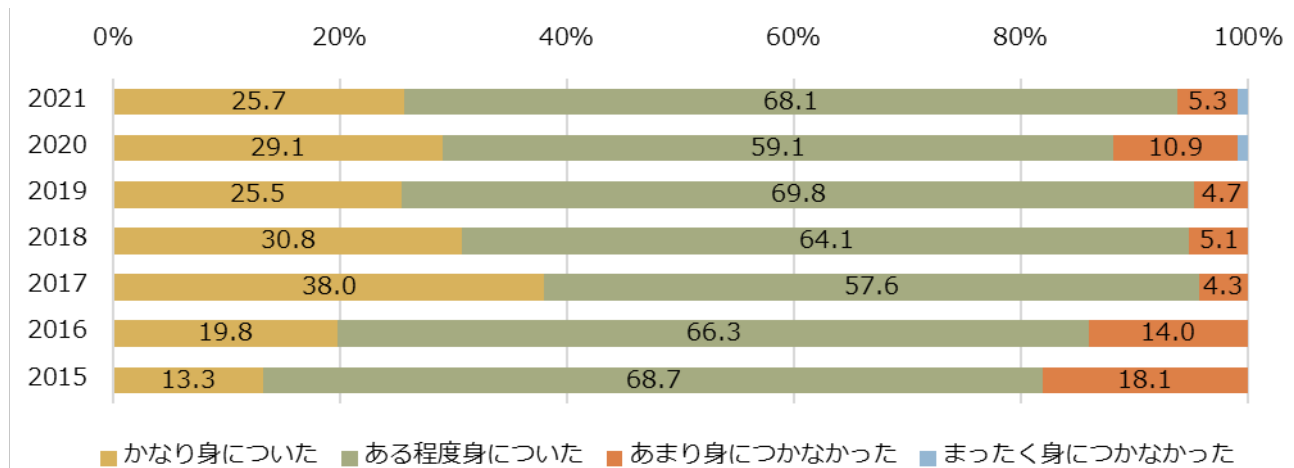
17. IT 時代に対応した情報スキル



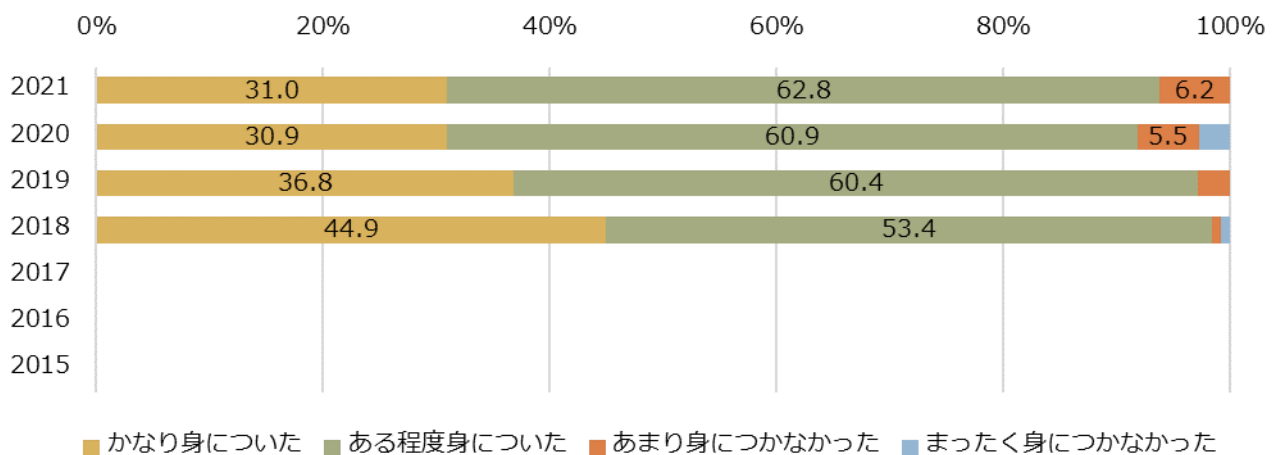
18. 患者・家族に対する接遇・態度の能力



19. 自分の意見を筋道立てて表現する能力



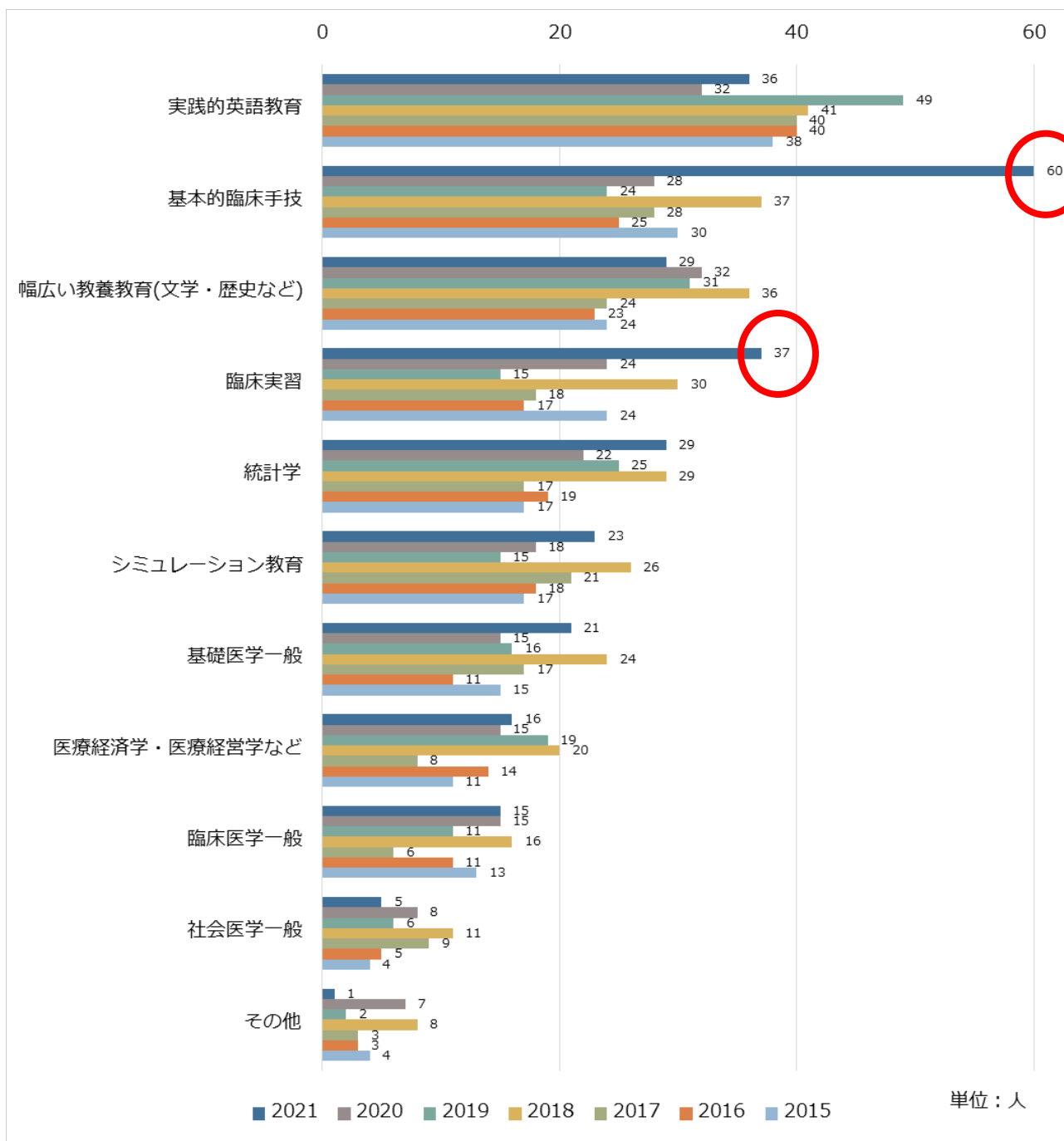
20. コミュニケーションの能力



問3. 在学中にもっと学んでおけば良かった、身につけておけば良かったと思うことはなんですか。

在学中にもっと学んでおけば良かった、身につけておけば良かった内容として選択された上位項目は、7年間の合計では「実践的英語教育」、「基本的臨床手技」、「幅広い教養教育」の順であった。

2021年度において、例年と比較して「基本的臨床手技」及び「臨床実習」の選択者が増加したのは、感染症の影響で対面での授業や実習が制限され、手技やベッドサイドでの学習が不足していることを認識した学生が多かったためと推測できよう。



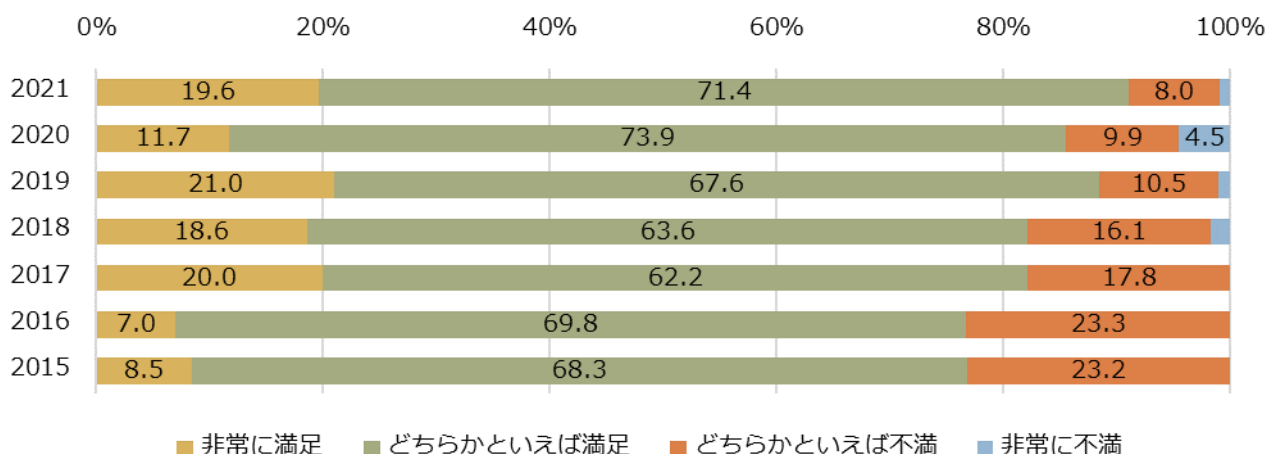
2021年度の「その他」記載内容 ・英語

問 4. 東京医科大学のカリキュラムや設備に対して、どのくらい満足していますか。

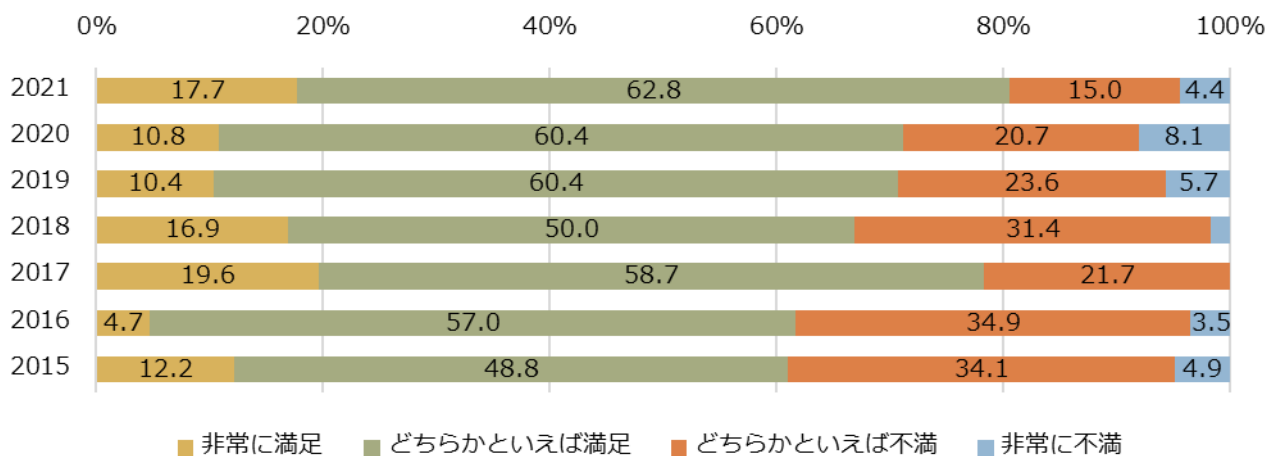
本学のカリキュラムや設備への満足度を問う設問である。

ほとんどの項目で 80%以上が満足（「非常に満足」と「どちらかといえば満足」の選択者計）と回答している。しかし、授業面では「2.語学の授業」が 80.5%とちょうど 80%を上回った程度であり、設備面では「10.パソコンの利用環境」が 79.5%と 80%を下回っている。

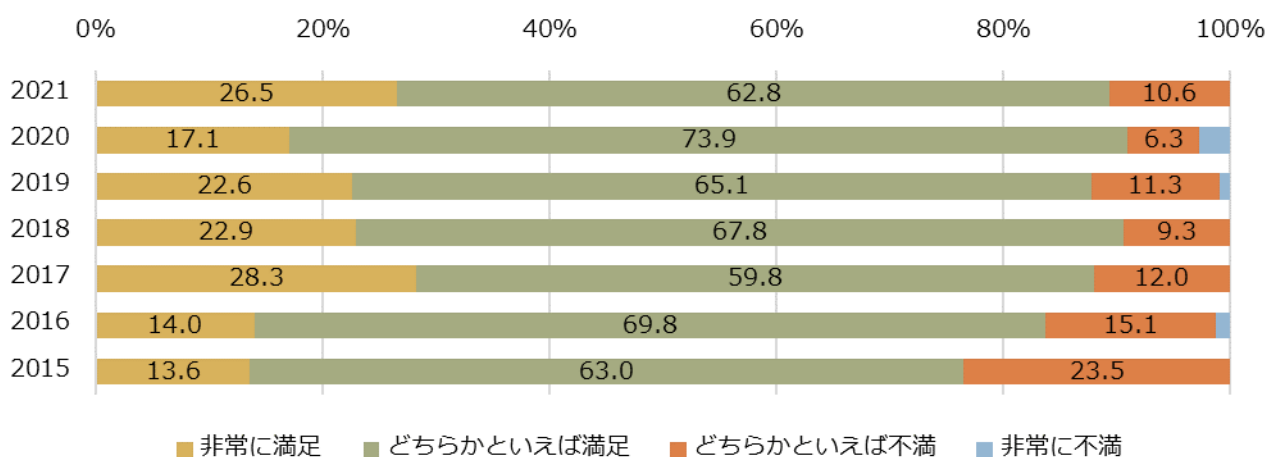
1. 一般教育系科目の授業・実習（語学を除く）



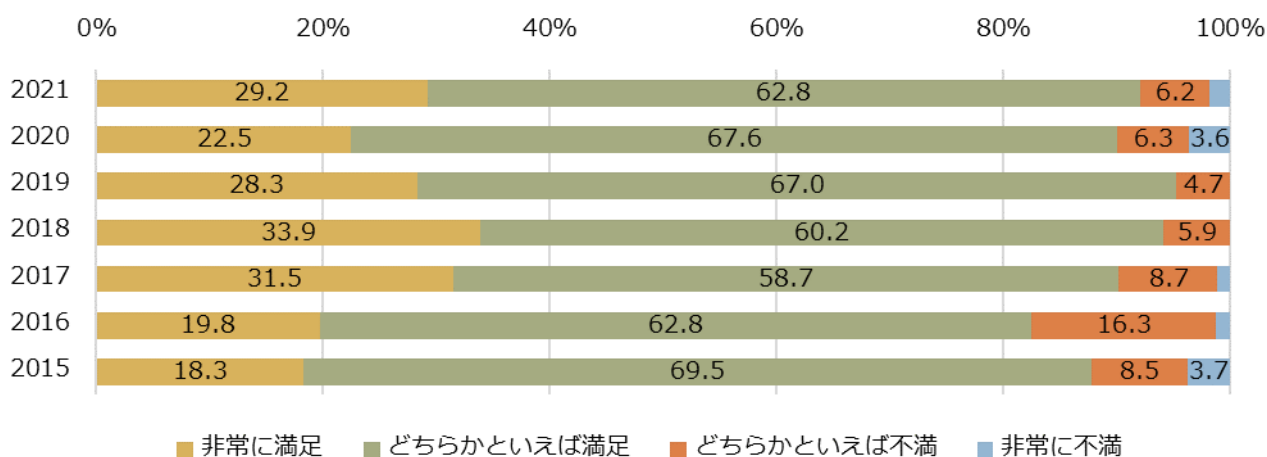
2. 語学の授業



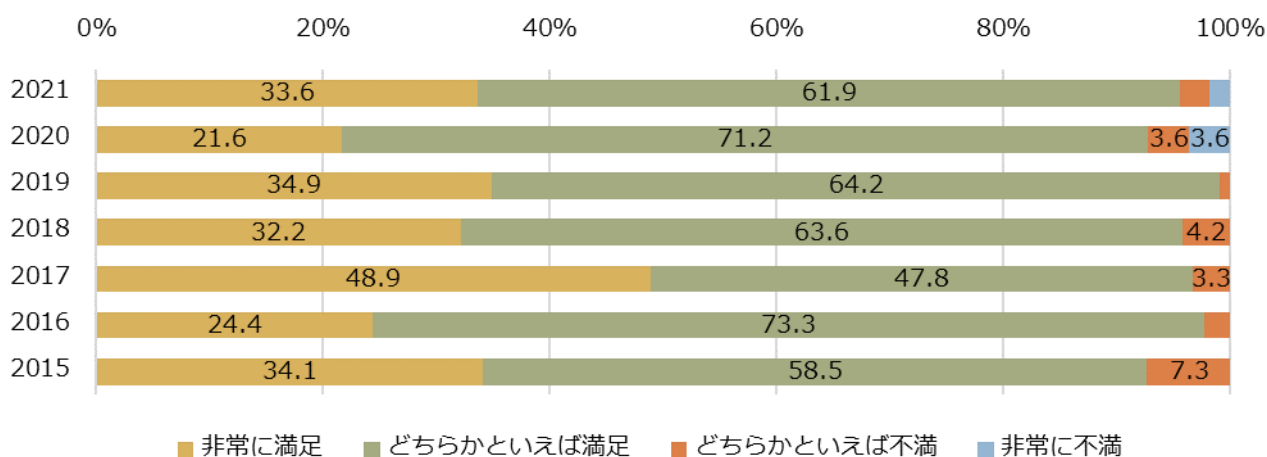
3. 基礎医学系科目の授業・実習



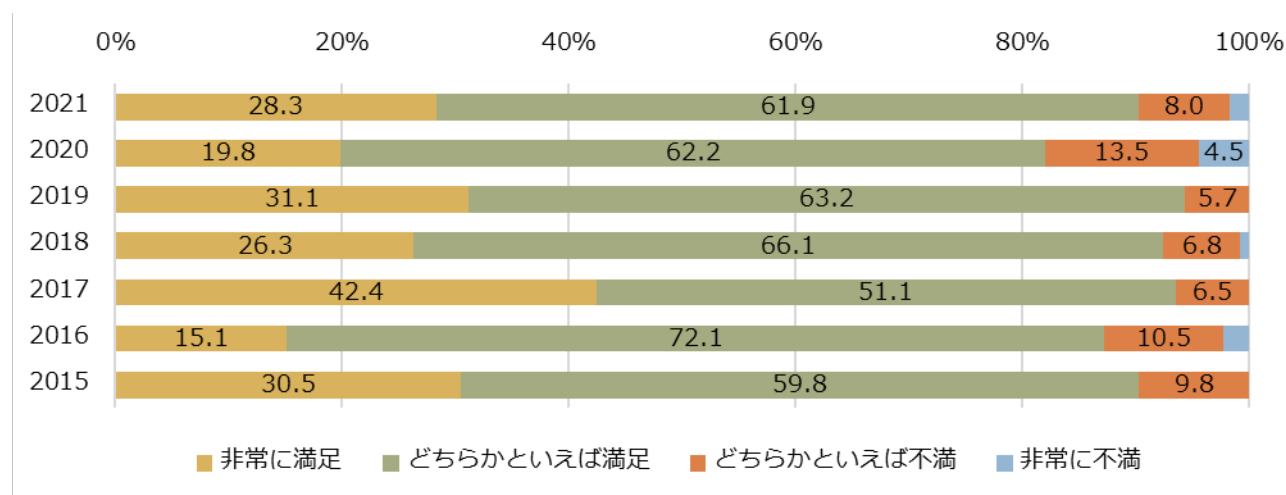
4. 社会医学系科目の授業・実習



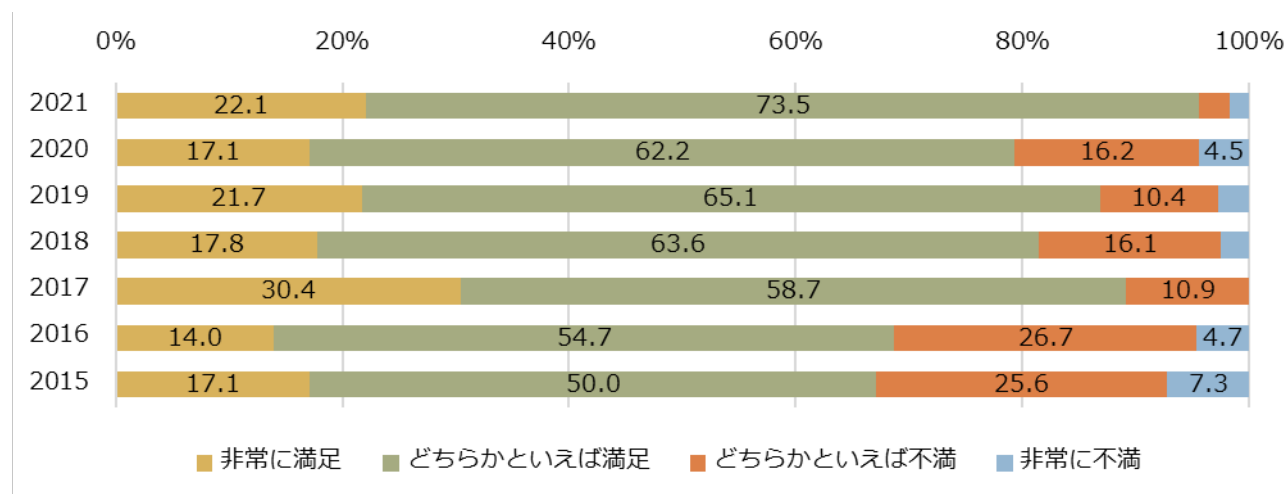
5. 臨床医学系科目の授業



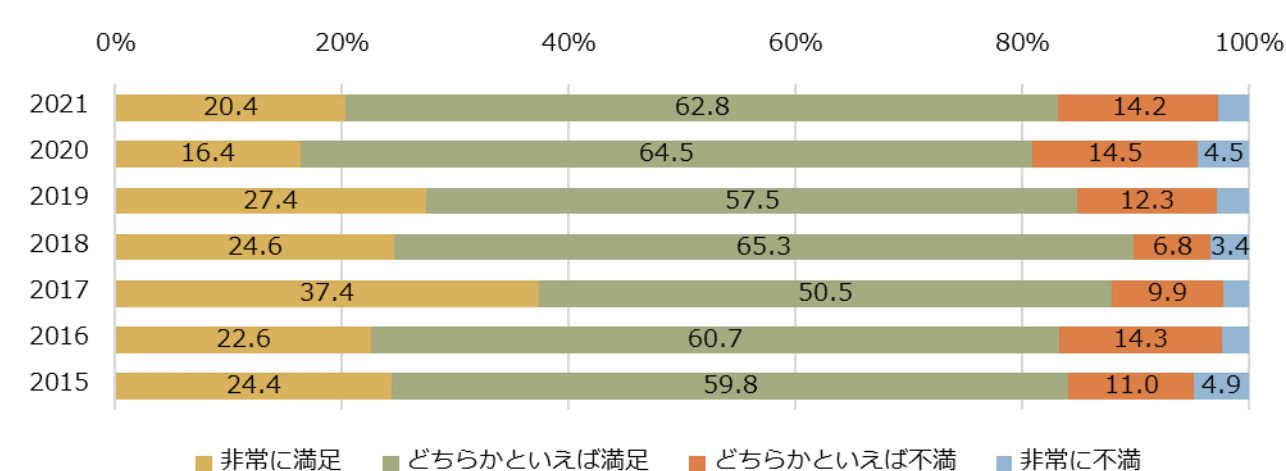
6. 臨床実習



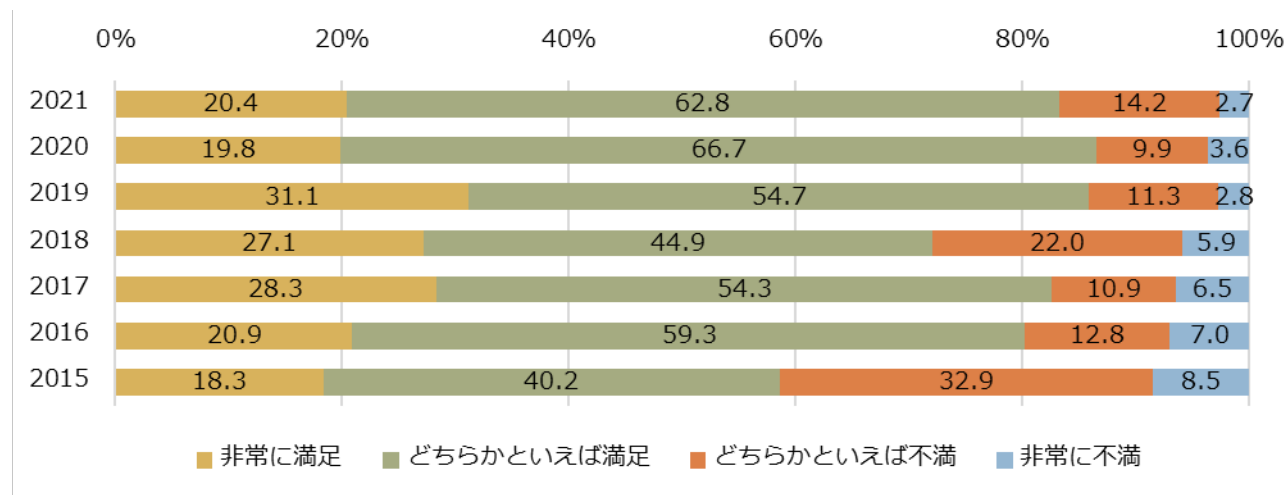
7. カリキュラム全般（科目の種類・配置・配当年次など）



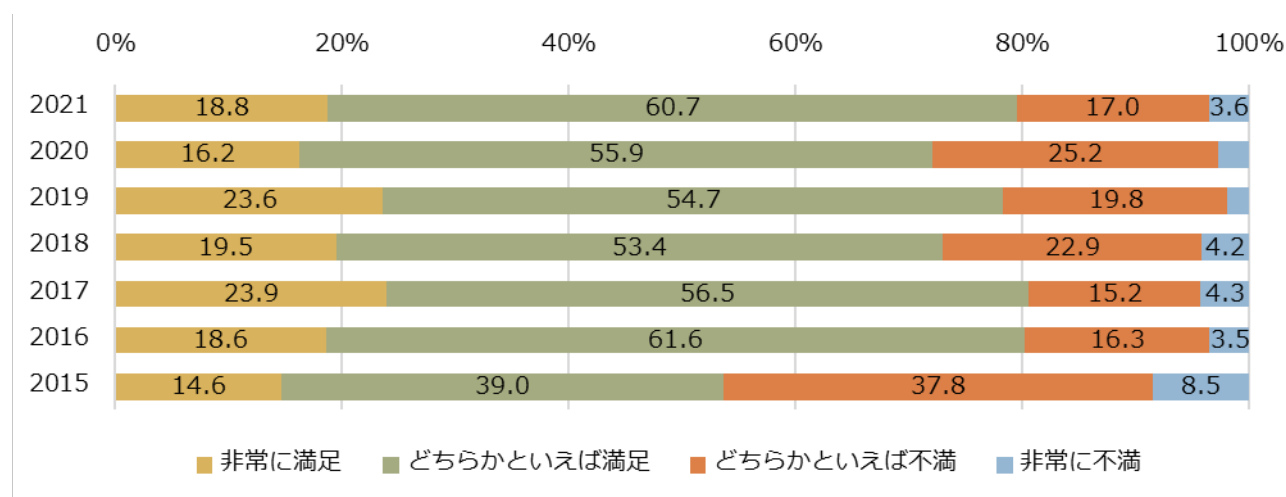
8. 教室・実習室等の設備環境



9. 図書館の環境や設備



10. パソコンの利用環境

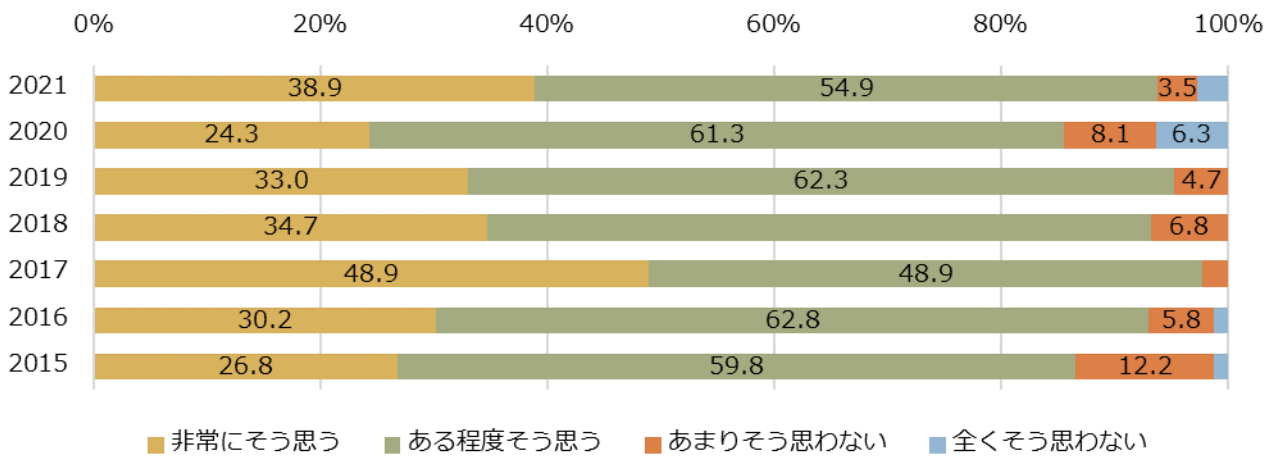


問 5. 東京医科大学を総合的に見て、どのように感じていますか。

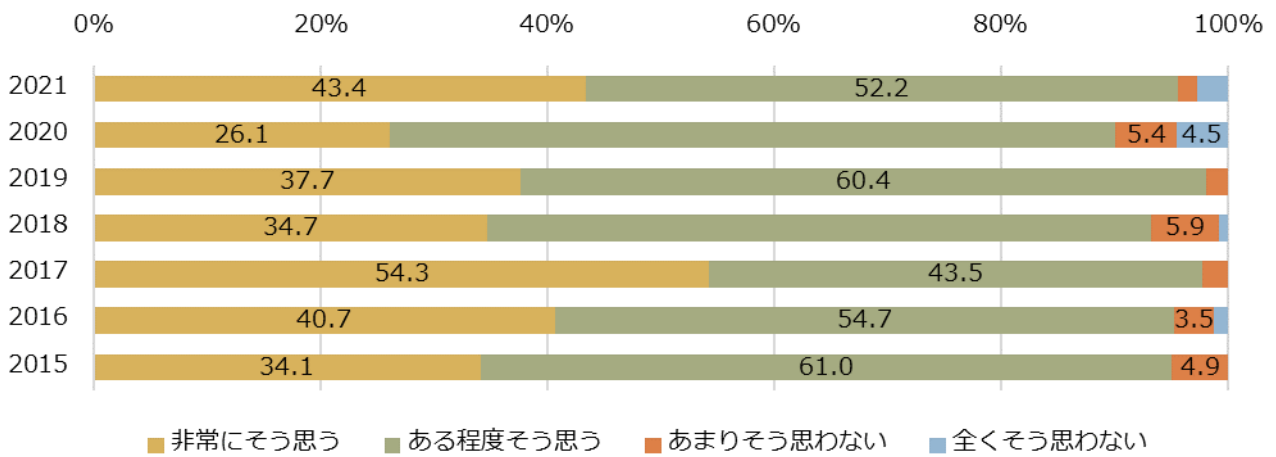
東京医大を総合的に見ると、教育内容に満足しており、東京医大の教育は卒業後の仕事や生活に役立ちそうだと考えていることがわかる。

2021年度は、「3.東京医大への受験を知人や将来の自分の子供に進めたい」において、2020年度以前よりも肯定（「非常にそう思う」と「ある程度そう思う」の選択者計）する割合が増加した。

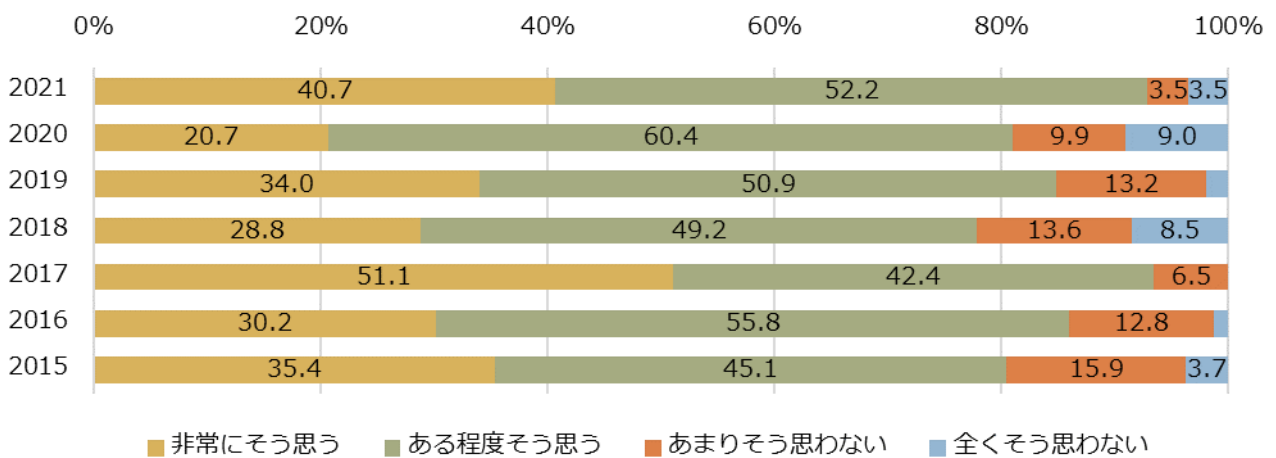
1. 東京医科大学の教育内容に、全体として満足している



2. 東京医科大学の教育は卒業後の仕事や生活に役立ちそう



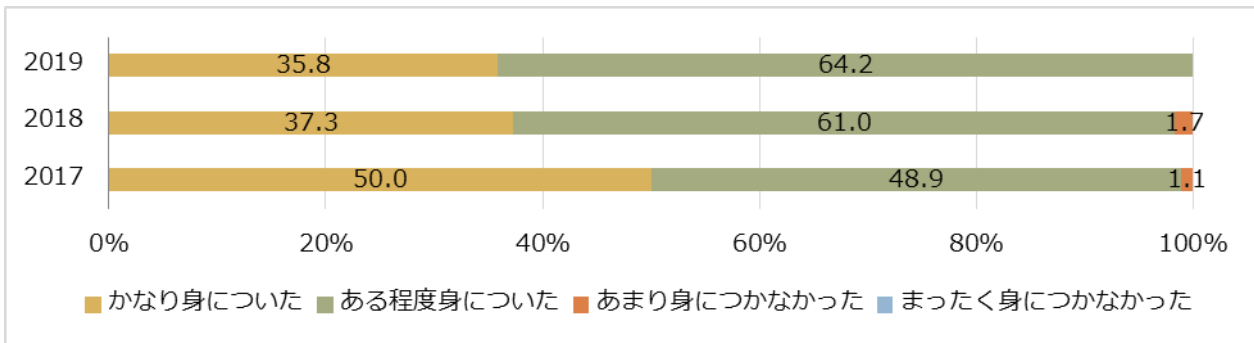
3. 東京医科大学への受験を知人や将来の自分の子供に薦めたい



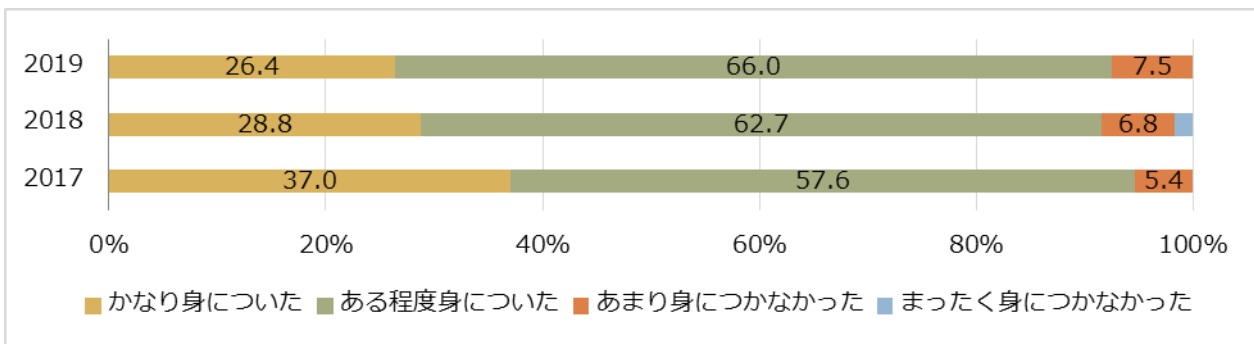
付録 2020年度改定前の教育到達目標の過年度比較（2017年度から2019年度までの比較）

問 1. 以下の項目は、東京医科大学医学部医学科の到達目標です。それぞれの能力をどのくらい身につけることができましたか。

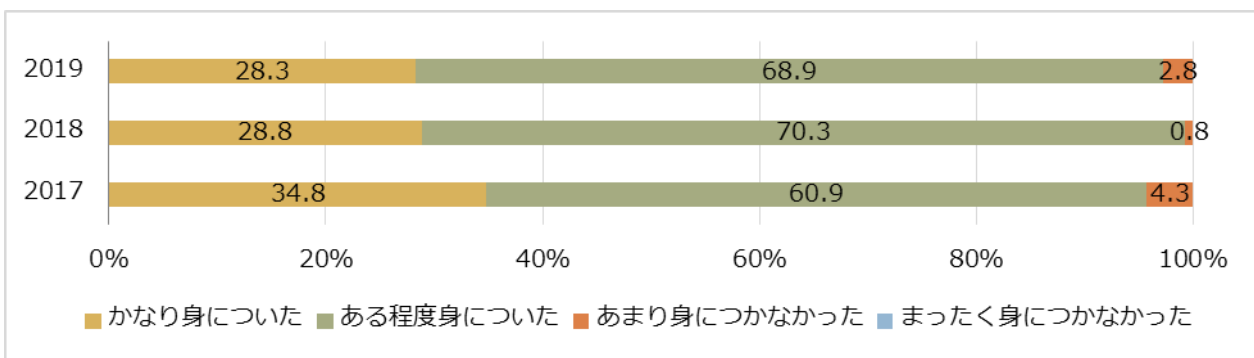
1. 礼儀・礼節を備え、他者に尊敬の念をもって接することができる。



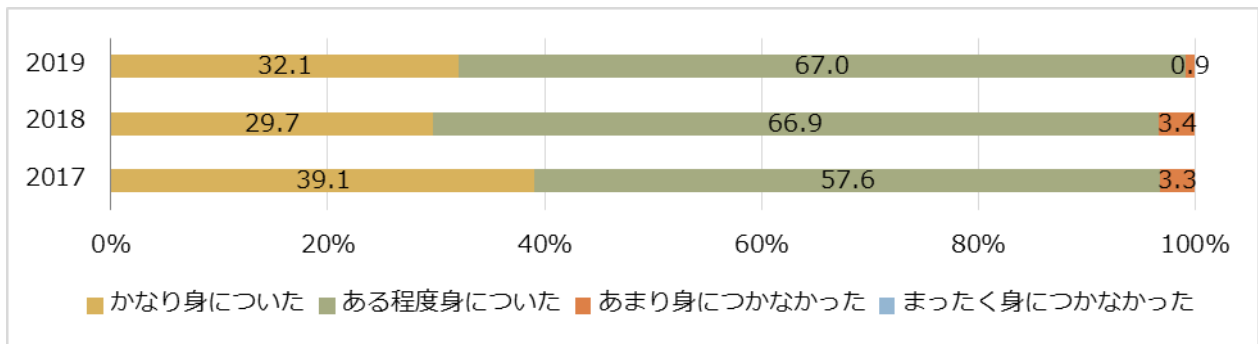
2. リベラルアーツに裏打ちされた広い見地と豊かな教養を身に付け、全人的医療の価値を理解することができる。



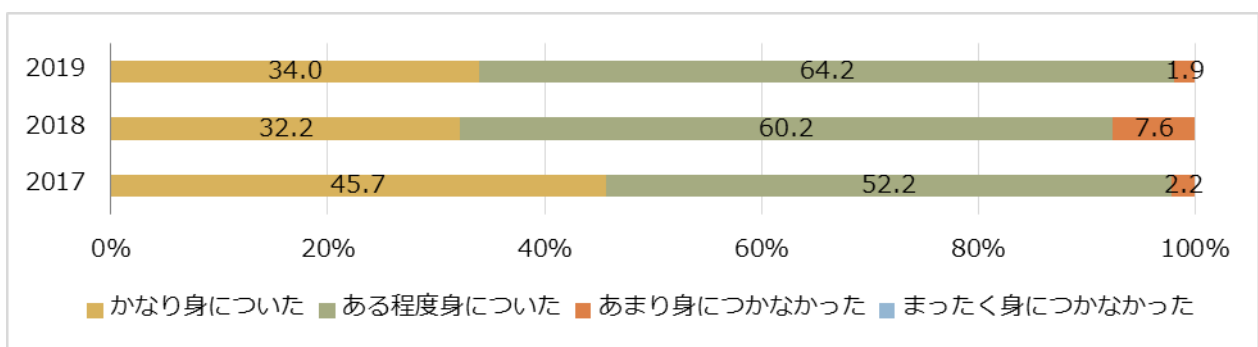
3. 科学的根拠に基づいた医療の知識や技術を、正しく実践することができる。



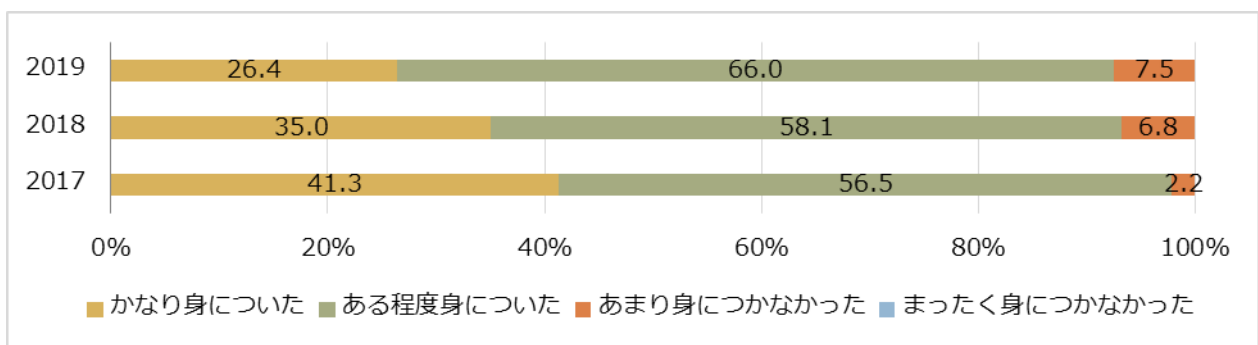
4. 医療のプロフェッショナルとしての教育を理解し、行動で示すことができることができる。



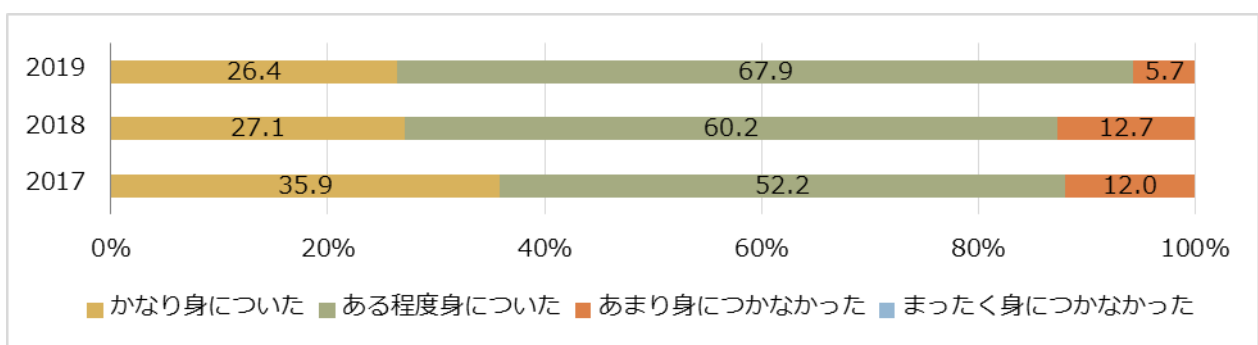
5. チーム医療において、多職種と協調してチーム医療を行うことができる。



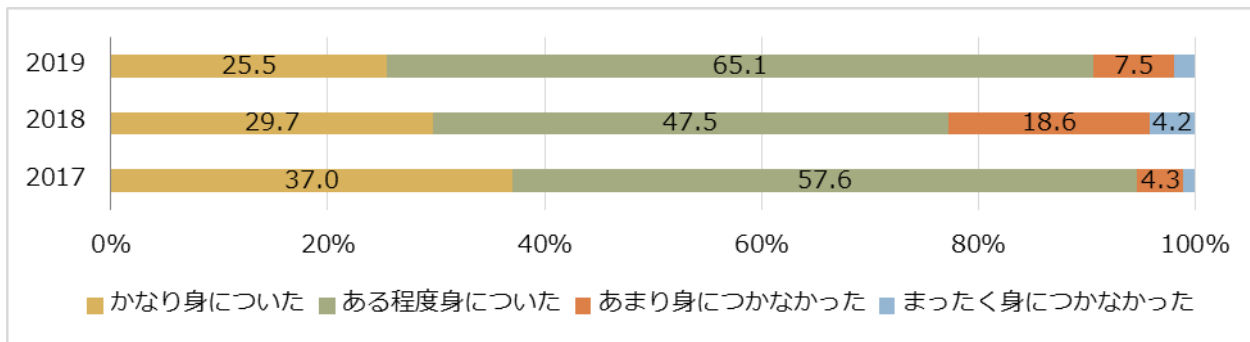
6. 能動的な学修習慣の修得により、生涯に渡り研鑽を積むことができる。



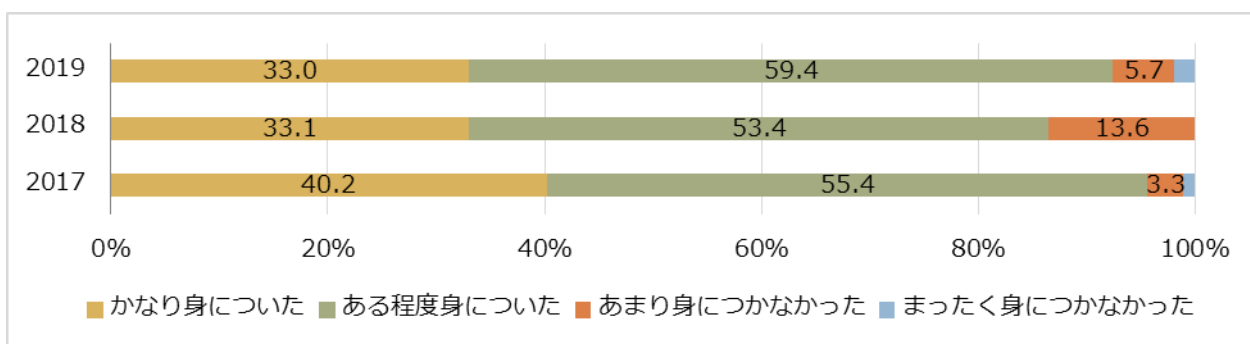
7. 予防医学、保健、福祉を通じ、地域医療に貢献することができる。



8. 国際的視野を有し、世界の人々の安全、健康と福祉に貢献することができる。



9. 医学研究を通じ、科学的思考過程を学び、医学・医療の発展に貢献することができる。



10. 医学的情報を正しく取捨選択し、ICT(情報通信技術)を効率よく活用することができる。

